

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 水 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語Ⅱ Comprehensive English Ⅱ		
対象年次 1 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) Eh	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:中村 吏花 /Eメールアドレス:arthur410@hotmail.co.jp /研究室:非常勤講師控室 /オフィスアワー:水曜昼休み			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500 文字)</p> <p>授業のねらい:速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。</p> <p>授業方法: 英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属の CD を活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。重要文法事項を解説する。</p> <p>授業到達目標: 基本的な文法・構文・表現方法を習得する。英語と日本語の違いを知り、英文の語順のまま、内容を理解できる。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字)</p> <p>授業内容(概要): 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認していく。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるために、テキスト付属の CD を活用して、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。</p> <p>*内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など、細かく確認していくと、「わからないところ」がはっきりすると思います。</p> <p>第1回 Introduction 第2回 Mt. Everest Trash Turned into Other Men's Treasure 第3回 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第4回 Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第5回 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第6回 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第7回 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第8回 Review 第9回 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第10回 Aceh Students join Tsunami Recovery Efforts 第11回 Palestinian Rappers Fight Occupation With Music, Not Bombs 第12回 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第13回 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第14回 Review 第15回 全授業の総括(試験含む)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p><i>Messages to Our Future</i> (金星堂)1900 円(税別)</p> <p>*第一回目の授業の最初に教室で教科書販売を行います。必ず出席してください。</p>		
成績評価の方法・基準等	定期試験 55%、課題 15%、音読 10%、積極的な授業への参加状況 20% (「出席点」はありません。)		
受講要件(履修条件)	<p>3 分の 1 以上の欠席で受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします。) 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。</p> <p>*教室に座っていれば「出席」というものではありません。予習をして授業に臨み、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて「出席」とみなします。</p>		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	<p>授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参して下さい(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。</p> <p>予習では、テキスト付属の CD を活用して繰り返し聞き、声に出して読む練習をして下さい。最初のページで音声に慣れ、また意味が確認できたら、次のページの内容確認問題を意識して記事全体を読んでいって下さい。最初に速読、それから精読をしていきましょう。</p> <p>それから辞書や文法書で内容を丁寧に確認しましょう。</p>		